

先日は、同行研修で大変お世話になりました、

看護師の皆様は大変お忙しい中、私に終始見られてやりにくかったのではないかとと思いますが、丁寧に  
ご指導いただき、心より感謝しております。

今後この経験を活かし、在宅療養を送るお子さんやご家族に少しでもお役に立てるように頑張っていきたい  
と思います。

以下、今回の研修での学びや感想をお送りします。

・まずは、在宅で療養生活を送る人の実際の姿を見ることができて、本当に良かったです。「一生続くこと  
なんだ」ということをリアルに感じることができました。ご家族の負担感、それでも色々なサポートを得ながら  
明るく生活を送られていること(明るく過ごそうと努力されていること)、そして長期に渡って支援していく  
ことの重要性。そのようなことを、ひしひしと感じることができました。

・「生活の場に入って支援すること」の意味を断片的にでも理解することができて良かったです。看護師の  
皆さんの寄り添ったコミュニケーションのとり方、環境整備の仕方などを見ることができて、大変勉強になり  
ました。

まずはご家族の発言を受け止めること、ご家族を思いやりながら意見を伝えること、受け止めるタイミング  
を押し付けずに待つこと、焦らず長期的な視点を持つこと、などが印象的であり、心に留めようと思いま  
した。

・環境整備についても、病院の環境整備とは全く意味が違うことを感じました。その方の生活環境で、ある  
ものを活用しつつ、できる範囲で整えていく。それこそ、焦らずに必要なことを伝えながら待つ姿勢も大切  
で、「寄り添いながら患者さんを守る」ことが大切なのだと思います。

環境にあわせて機転を効かせることが大事で、看護師さんの柔軟性が必要なことがよくわかりました。

・具体的な看護技術についても、様々なことを学ぶことができました。

たとえば、在宅における呼吸器の取扱、気切のお子さんや重身の患者さんのお風呂の入り方、排痰ケア  
(動くことや加湿がとにかく大事なことなど)、気切部の処置など。

また、会話ができない患者さんのコミュニケーションのとり方(文字盤や目の動きなど)も実際に知ることが  
できて良かったです。

・ヘルパーさんや親御さんとの連携の仕方も学ぶことができました。

本当に、ひとつのチームのようになって協働されていることがよくわかりました。患者さんに良いケアを提  
供するためには良いチームであることが大切だと感じました。そのためお互いに配慮しあいながら患者  
さんを支えている素晴らしい関係性を見せていただき、大変勉強になりました。

・訪問看護師さんの業務の多様さを知ることができました。たとえば、お風呂や排痰ケアなどの日常生活  
や医ケアを命綱のように担ったり、ゆっくりとリラックスできる環境をつくってマッサージを行いながら患者  
さんの気持ちを和らげるような関わりをしたり、

目的に応じて手段は何通りもあり、常にその患者さんのニードを考えながら工夫し続けているのだという  
ことを学びました。頭を使うし、それと同時に自身の人間性も問われる、難しい仕事だと思いました。難し  
さと同時に、すごく可能性を含んでいる、ワクワクする仕事だとも感じました。

・一日 4.5 件訪問に行く看護師さんの負担感を体感することができました。

重症心身障害児の入浴の大変さ、生活の場に入ることの独特の緊張感、移動(運転)の負担、寒暖差による影響など、思った以上に疲労することがわかりました。

当事業所でも、そのあたりを十分に考慮して、スタッフが健康に働き続けられる環境を作らないといけないと思いました。

具体的に、直行直帰や、時間休 OK などは働きやすさにつながっているとのことだったので、ぜひ取り入れようと思います。

また、ご自身も同じように手を動かしながらスタッフの方々の気持ちに寄り添う所長の存在の大きさを感じました。自分自身も、管理者(というはおこがましいのですが)の役割を担うときには、同じ目線を持つことを忘れないようにしようと思いました。

・管理的には、シフト組みが難しいことや、お子さんの場合は欠席率が高いことなどをお聞きし、1患者さんに複数のスタッフがケアにあたるように、意識的に取り組んでいこうと思いました。

・新人看護師さんの研修計画や、管理者としての親御さんとのやりとりの仕方なども教えていただきました。参考にさせていただきます。

以上、簡単にですが研修での学びを共有させていただきます。

細かいことは、まだまだたくさんあるのですが…。

今後も、教えていただきたいことが出てくると思います。

そのときには、何卒よろしくお願いいたします。

当事業所も、いつか何らかの形でくれよんさんのお役に立てるように精進していきます。

それでは、今回は貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。

同行させていただいた三名の看護師さんにも、どうぞよろしくお伝えください。

---

A 事業所 Nさん